

## お知らせ

### 2000年1月1日から2018年3月31日までに当院で膵癌の手術を受けられた患者さんへ 課題名：膵癌および微小環境でのがん増殖・転移促進分子の同定

#### 1. 研究の対象

今回当院では、「膵癌および微小環境でのがん増殖・転移促進分子の同定」と題する臨床研究を行います。対象となる患者さんは、2000年1月1日から2018年3月31日までに、膵癌の手術を当院で受けられ、患者さんから取り出された腫瘍組織（保管検体）を研究に使用することに同意していただいている方です。

#### 2. 研究目的・方法

多くの癌で癌細胞およびその周囲組織において、S100タンパク質が多く産生されています。S100タンパク質は、炎症が起こっている組織で産生されていることが報告されているタンパク質群で、現在約25種類の亜型が報告させています。膵癌においてもこのタンパク質が多く発現し、癌細胞の活性化に関連する可能性が考えられています。さらに癌細胞周囲では線維芽細胞が増生していることが知られており、線維芽細胞の増生も癌細胞の活性化に関連する可能性が考えられています。しかし、S100タンパク質と線維芽細胞による膵癌細胞の活性化の詳しい機能についてはまだよくわかっていません。S100タンパク質の発現増加と線維芽細胞の増生が“がんの転移”を促進している可能性が考えられますが、これまでそのような研究はありませんでした。本研究では、膵癌組織および周囲でのS100タンパク質の発現の有無を検討し、癌転移・癌増大および予後との関連を解析することにより膵癌の増殖・転移促進分子の同定を行うことが目的です。

本研究に関する検査は、既に手術で取り出されて保管されている膵癌の組織標本を用いて行われます。患者さんに新たなリスク、経済的負担、謝礼はありません。研究結果は、将来の膵癌の患者さんの治療方針を決める際の大切な指標となることが期待されます。また、これまで知られていない癌の増殖・転移促進分子が発見される可能性があり、このような分子は癌の治療戦略上、重要な標的となる可能性があります。これらの研究成果は今後の医療の進歩につながることを期待できます。

この臨床研究は、当院で保管されている患者さんの検体の一部を使用させていただきますので、研究の科学的妥当性と倫理性を当大学及び病院の倫理委員会で審査され、承認を受けています。全体で100名の患者さんのご協力をいただく予定です。研究期間は2018年6月15日から2021年6月30日までです。

#### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：2000年1月1日から2018年3月31日までに、膵癌の手術を当院で受けられ、患者さんから取り出された腫瘍組織（保管検体）

情報：診療録（病理所見、手術法、予後等）

研究結果は学会や論文発表等に使われます。膵癌組織の蛋白発現解析は、当院または共同研究機関である岡山大学で行われます。岡山大学で行われる場合、患者さんの情報は匿名化され、個人を特定できる情報が当院の外に漏れることはありません。この臨床研究では、個人の秘密は守られ、お名前など個人情報が外部に公表されることはなく、研究によって患者さん個人が不利益を受けることはありません。研究に関するデータは論文等の発表から5年後に廃棄いたします。

#### 4. お問い合わせ先

本臨床研究の対象になる患者さんは、同意を撤回、拒否することができます。その場合でも患者さんに不利益になるようなことはありません。この臨床研究に関して、具体的な研究内容や本件に関して何かご不明な点などがありましたら、いつでもご遠慮なく下記の研究相談窓口にご相談ください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。

連絡先：・・

病 院 名               : 川崎医科大学附属病院  
病院所在地           : 〒701-0192 岡山県倉敷市松島577  
病院電話番号         : 086-462-1111 (内線44518)  
電子メール           : yamamura@med.kawasaki-m.ac.jp  
研究責任者           : 川崎医科大学 臨床腫瘍学 講師 山村 真弘

#### <共同研究機関>

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 細胞生物学分野  
研究責任者           : 阪口 政清

#### 5. 利益相反

この臨床研究を行う資金は、研究責任者および研究分担者の教員研究費で賄われます。研究結果に影響を及ぼしかねない資金の受入はありません。この内容を利益相反委員会に申告し、適正に管理されています。